

* 1 地域福祉 コーディネーター

地域での課題やニーズを受け止め、制度化されたサービスと住民による支えあい活動をつなぐなど、地域での生活を支えるネットワークづくりを進める人のこと。

* 2 福祉サービス 第三者評価

第三者機関が客観的にサービスを評価するもので、サービスの質の向上と利用者のサービス選択に役立つ仕組みです。

* 3 8020運動

生涯にわたって健康な歯を維持することを目的に推進されている運動のこと。80歳になっても健康な自分の歯を20本以上残すことをめざします。

* 4 う蝕

むし歯のこと。

1 とともに生き支えあう地域社会づくり

(1) とともに生き支えあう社会づくりをめざす地域福祉の推進

2007年度は、地域福祉の推進を図るため、地域福祉コーディネーター（*1）の育成を進めるとともに、福祉サービスの利用者支援と質の向上をめざして福祉サービス第三者評価（*2）の推進や権利擁護の充実を図りました。また、福祉のまちづくりの推進を図るため、民営鉄道駅舎のエレベーター整備などを支援するとともに、一定の建築物にバリアフリー化を義務付けるなど、より実効性のある条例の取組みを行うため、福祉の街づくり条例の見直しに向けて検討を行いました。さらに、福祉有償運送の適正、円滑な推進とサービスの質の向上を図るため、相談窓口の設置や普及啓発事業を実施しました。

2008年度は、引き続き地域福祉の推進に取り組むとともに、福祉のまちづくりをより一層推進するため、引き続き、福祉の街づくり条例の見直しを検討します。（保健福祉部、県土整備部）

(2) ホームレスの自立支援の促進

2007年度は、ホームレスの居所に赴いて援護窓口の紹介などを行う巡回相談事業や、自立を阻害する要因を取り除くよう法律相談事業を実施しました。また、就労を支援するため、就労支援員による相談などを行う就労促進事業や、低額な家賃などの情報提供を行う住宅確保支援事業を実施しました。

2008年度も引き続き、ホームレスの自立を支援するため、同様の取組みを行います。（保健福祉部）

(3) 生涯を通じた健康づくりの推進

2007年度は、県民一人ひとりが取り組む、がんをはじめとする生活習慣病の予防を支援するため、食生活の改善や適度な運動などについての情報の提供や、検診の充実に取り組むとともに、新たな受動喫煙防止対策として「公共的施設における禁煙条例（仮称）」の検討や地域保健と職域保健の連携による取組みを展開しました。また、「健康づくりに向けた体操推進運動」の推進体制の整備や情報提供などに取り組まれました。さらに、生涯にわたって健康な歯を維持することを目的として推進している「8020運動」（*3）の一環として、う蝕（*4）予防対策や歯周疾患の予防対策に取り組まれました。また、不妊専門相談センターにおいて医師・助産師による不妊相談を行うとともに、医療保険が適用されず、高額な医療費がかかる不妊治療の経済的負担を軽減するための助成を行いました。こころの健康づくりにおいては、自殺や精神疾患の予防、ひきこもりなどの専門相談を実施するとともに、関係機関による会議を開催するなど総合的な自殺対策を推進しました。

2008年度は、引き続き、生活習慣病予防に向けた同様の取組みを進めるとともに、「公共的施設における禁煙条例（仮称）」制定に向けた検討を進めます。また、「健康づくりに向けた体操推進運動」の普及啓発、体操メニューの作成などに取り組まれます。母子保健対策やこころの健康づくりについては引き続き同様の取組みを行います。（保健福祉部）

2 高齢者や障害者が地域で安心してくらするしくみづくり

(1) 高齢者が安心してくらする保健福祉の充実

2007年度は、介護保険制度の円滑な運営と適切なサービスの提供を図るため、介護サービス事業者への指導や介護関係職員に対する各種研修を実施するとともに、介護サービス情報の公表を進めました。また、高齢者の生きがいづくりを推進するため、老人クラブ活動などへの支援を行いました。さらに、認知症対策として、認知症サポート医の養成やかかりつけ医認知症対応向上研修を実施しました。

2008年度も引き続き、同様の取組みを行います。（保健福祉部）

(2) 障害のある人が、地域でその人らしくくらする支援の充実

2007年度は、「すまい」の視点から、グループホーム・ケアホームの整備促進などの施策を実施するとともに、「いきがい」の視点から、障害者自立支援法に位置づけられた生産活動などを行う就労支援事業の充実に取り組む、「ささえあい」の視点から、神奈川県障害者自立支援協議会及び障害保健福祉圏域自立支援協議会の運営を通じ、相談支援のネットワークの形成を図ったほか、総合リハビリテーションセンターの再整備にかかるサービス提供対象者数などの調査を行いました。

2008年度も引き続き、地域生活を支える福祉サービスの充実・発展、就労・社会参加の促進、障害保健福祉圏域における相談支援のネットワークの強化など、地域生活を支えるしくみづくりや、総合リハビリテーションセンターの再整備基本構想の策定に取り組まれます。（保健福祉部）

3 地域における保健・医療体制の整備

(1) がん医療体制の整備

2007年度は、住み慣れた地域で質の高いがん医療を安心して受けられる体制づくりを進めるため、神奈川県のがん医療の中核機関として県立がんセンターの機能強化に向けてPFI方式を活用した総合整備に取り組みとともに、がん診療連携拠点病院のネットワークづくりや機能強化に取り組みました。また、がんの終末期に身近な地域でターミナルケア(*5)を受けられることができるようターミナルケア提供にかかる地域連携の推進や人材育成などに取り組みました。

2008年度も引き続き、県立がんセンターを中心とするがん診療連携拠点病院のネットワークの強化に取り組みとともに、「がんへの挑戦・10か年戦略」改訂計画に基づき、治療の初期段階からの緩和ケア(*6)の提供が可能な体制づくりや放射線療法、化学療法の人材育成などに取り組みます。
(保健福祉部、病院事業庁)

(2) 疾病対策の充実強化

2007年度は、難治性疾患対策として、適切な在宅療養支援が行えるよう訪問相談や医療相談を行うとともに、腎臓、角膜及び骨髄などの移植体制を整備したほか、腎臓・肝臓疾患については、講演会を行うとともに肝炎検査体制を充実しました。また、感染症発生情報の収集・分析を行い、その結果を県民、医療機関に公表するとともに、患者などの健康調査、医療従事者などに対する研修、感染場所の消毒などの予防対策事業を実施しました。さらに、エイズ対策としてパンフレット類の作成・配布、青少年への予防講演会、地域イベント、レッドリボン月間の実施などの普及啓発活動や、ボランティア育成を実施しました。また、エイズ診療研修、カウンセリング研修などによる医療体制の充実や、HIV保健センターや保健福祉事務所などにおける検査・相談体制の充実を図ったほか、原子爆弾被爆者に対し、健康の維持、増進を図るための健康診断の実施、医療の給付及び各種手当への支給を実施しました。

2008年度は、引き続き同様の取組みを進めるとともに、肝炎検査体制の拡充を図り、肝疾患診療連携体制の整備に努めます。
(保健福祉部)

(3) 地域医療システムの整備・充実

2007年度は、かかりつけ医の普及・定着をはじめとする地域医療の連携を推進しました。また、医師バンクの設置や周産期救急受入機関紹介業務の正式運用などにより医師確保対策を推進するとともに、市町村と医師会などが協力して運営する休日夜間急患診療所や小児救急医療に係る病院群輪番制の運営に対し、支援を行いました。さらに、精神保健医療の充実を図るため、精神科救急医療情報窓口を24時間化し、精神科救急医療体制を拡充しました。

2008年度は、引き続き地域医療システム及び精神科救急医療体制の整備・充実に取り組みとともに、産科など特定診療科の医師数の増加を図るため、新たに特定診療科型奨学金の創設に向けた取組みを進めます。
(保健福祉部)

(4) 医薬品などの安全確保、適正使用及び献血の推進

2007年度は、安全な医薬品などの流通を図るため、製造所などに対し製造工程管理や市販後の安全確保体制の充実を指導するとともに、いわゆる健康食品など医薬類似品に対する監視・検査を実施し、違法な医薬品の排除に努めました。また、小・中学校、老人クラブなどにおいて医薬品適正使用に係る普及啓発をモデル的に実施しました。

献血の推進については、県民の医療に不可欠な血液製剤を確保するとともに、少子高齢社会の進展を踏まえ、若年層への啓発に取り組みました。

2008年度も、引き続き同様の取組みを行います。
(保健福祉部)

4 保健・医療・福祉人材の育成と確保・定着

(1) 保健・医療・福祉人材の育成と確保・定着

2007年度は、質の高い保健・医療・福祉人材の育成と確保・定着を図るため、県立保健福祉大学、大学院及び県立の看護専門学校における人材の養成や資格取得に係る研修・試験及び再就業支援や職場への定着促進のための研修事業などを実施しました。

2008年度は、引き続き保健・医療・福祉人材の育成と確保・定着策を促進するとともに、新たに、院内保育に対する助成の充実や、在宅医療を支える訪問看護人材の資質向上研修、福祉・介護人材のチームケア力の強化や離職防止、再就業支援に取り組みます。
(保健福祉部)

*5 ターミナルケア

今日の医学では治る見込みがない末期患者に対して、苦痛を軽減し、精神的支援を心がけるケアのこと。

*6 緩和ケア

生命を脅かすような疾患による問題に直面している患者とその家族に対し、疾患の早期段階から身体症状のコントロールだけでなく、心のケアも同時に行い、患者の生活の質を総合的に高めるケアのこと。